

年度	学年
2022年度	高校1年生

教科	地理歴史科
科目(授業名)	地理総合
単位数	2単位(週2時間)
区分	必修

授業概要	2022年度の新教育課程から地理系科目が約50年ぶりに必修化され、その重要性が反映される形となっている。この地理総合では、「地理情報システム(GIS)」、「持続可能な地域社会(防災的観点から)」、「グローバル化が進む世界」の三項目を主に扱うが、従来の地理に含まれていた地形や気候などの自然地理学、諸地域の農産業などについて学ぶ地誌学についても網羅する。現代社会は地理的要素、歴史的要素、社会的要素が複雑に絡み合っており、多くの問題が発生している。これらの要因を地政学的観点から考え、将来に生きる世代としての役割を理解することが重要である。
到達度目標	・地理情報システム(GIS)から地図の特性や世界の諸地域、防災の理解を深めること ・ESD教育の観点から持続可能な開発と世界の自然・人文地理学的知識を修得すること ・地政学の観点から世界を見つめ、現代社会の諸問題の現状把握や解決に向けた考察を行うこと ・地図を通して空間認識の能力を高め、土地勘や地理情報への興味関心を高めること

教科書	帝国書院 高等学校 新地理総合 帝国書院 新詳高等地図			
補助教材 参考図書など	ニ宮書店『データブックオブ・ザ・ワールド2021』 Discover21『現代地政学 国際関係地図』 Google Earth, Google マップ 地理院地図 jSTAT MAP			
課題	夏、冬などの長期休暇でプレゼン型の課題を課すことがある			
成績評価方法	定期試験、および5月実施のテストにより評価			
定期試験	前期中間	前期期末	後期中間	学年末
	○	○	○	○

授業計画

学期	学習内容	備考
前期	・位置情報（緯度と経度）と時差 ・地図投影法と様々な地図 ・主題図と統計地図 ・一般図と地形図 ・GISの活用	e-StatやjSTAT MAP、地理院地図を活用して統計地図の作成を行う
	前期中間試験	
	<グローバル化> ・国家と領域（国境や排他的経済水域等） ・日本を取り巻く領土問題 ・国際紛争と国連の役割 ・貿易網・交通網・通信網の発展とグローバル化 <大地形と生活文化> ・プレートテクトニクスと変動帯 ・河川・海岸・氷河地形	
	前期期末試験	
後期	<世界の気候> ・大気の大循環 ・ケッペンの気候区分 ・各地域の特色（熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯・寒帯・高山） <人文地理> ・言語や宗教の分布と特色 ・歴史的背景と生活への影響 ・世界の産業と生活への影響	
	後期中間試験	
	<ESD・SDGs> ・持続可能な開発と地球環境問題 ・エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・衛生問題 ・地域・社会格差 <日本の防災> ・日本の気候と地形的特色 ・防災と減災	
	学年末試験	